

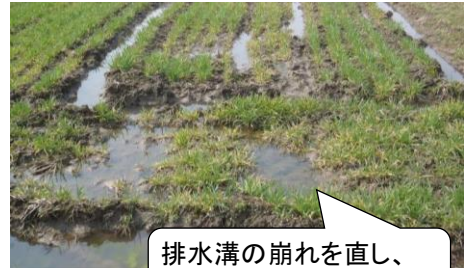
# 大麦特報 (第4号)

令和8年3月下旬  
なのはな農業協同組合  
富山農林振興センター

大麦の生育は概ね近年並みとなっています。2月上旬まで低温・降雪がみられたものの、2月中下旬以降は気温が高く推移し、今後も高めで推移すると予想されていることから、止葉展開期は3月31日～4月3日頃(出穂期は4月11日～14日頃)を見込んでいます。高収量・高品質の大麦を目指し、排水対策や適期防除を徹底しましょう。

## 1 排水対策

根の健全化を図り登熟を良好にするため、再度、排水溝の手直しや、深く掘り下げた排水口への連結を徹底しましょう。



排水溝の崩れを直し、速やかに排水しましょう

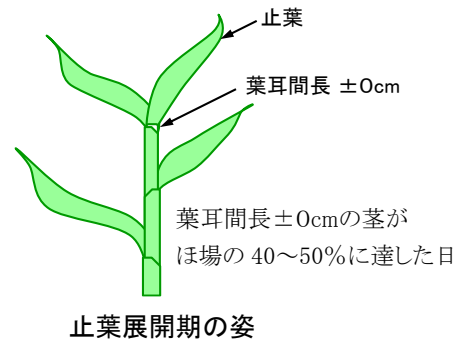
## 2 止葉展開期追肥 (分施肥のみ)

地域や播種日により生育に差があるため、ほ場ごとに止葉が展開したことを確認し、生育量や葉色に応じて追肥しましょう。

下記の目安を参考に、適期・適量を施用しましょう。

### 【分施肥ほ場の追肥の目安】

追肥時期	葉色	予想穂数 (m <sup>2</sup> 当たり)	10a当たり施用量
3月31日 ～ 4月3日頃	5未満	500本未満	窒素 2kg (硫安10kg)
		500本以上	窒素1～2kg (硫安5～10kg)
	5以上	500本未満	窒素 1kg (硫安5kg)
		500本以上	追肥しない



※追肥時期が早いと整粒歩下が低下し、施用時期が遅れたり施用量が多いと、倒伏や硝子粒の増加につながります  
※肥効調節型基肥(エコ大麦44号)栽培体系の場合は、追肥不要です

## 3 赤かび病の防除

赤かび病は、特に開花始め(1回目)の防除が重要です。適期の2回防除を徹底しましょう。地域や播種日によって生育差があるため、必ずほ場ごとの開花状況を確認して防除しましょう。

### 【防除時期等の目安】(10月上旬播種)

防除時期	1回目	2回目
	穂揃期(開花始め) 4月14日～17日頃	1回目から7日後
液剤	トップジンM水和剤 1000倍液 150ℓ/10a	シルバキュアフロアブル 2000倍液 150ℓ/10a
粉剤	トップジンM粉剤DL 4kg/10a	ワークアップ粉剤DL 3kg/10a
無人航空機	トップジンMゾル 8倍液 0.8ℓ/10a	シルバキュアフロアブル 16倍液 0.8ℓ/10a



混入不可  
赤かび病被害粒  
(混入限度0.0%)

※可能な限り防除効果の高い液剤体系としましょう  
※防除適期に降雨が多い場合でも、晴れ間を利用して確実に防除をしましょう  
※周辺作物や住宅地への飛散防止を図るため、防除は風の弱い時間帯に行いましょう

春の農作業安全運動実施中 (3月1日～5月31日)  
農作業事故ゼロを目指して事故防止対策を徹底しましょう!